

発表者：**清川 祥恵** 氏

19 世紀イングランドにおけるゴシック復興の社会的意義 —ウィリアム・モリスの『人知れぬ教会の物語』を手がかりに

発表者：**田 恩伊** 氏

「つくられる共同体」の社会学的地平 —親密圏と公共圏の交差

日時：2014 年 1 月 23 日 (木) 17:30 ~ 20:00

場所：**E410 (学術交流ルーム)**

[神戸大学大学院国際文化学研究所] (生協食堂前のエレベーターにて 4 階へお上がり下さい)

【清川祥恵】

博士 (学術) 神戸大学。専門は英文学、19 世紀英国の中世主義思想研究。現在、神戸大学大学院異文化研究交流センター (IREC) 学術推進研究員。

「ウィリアム・モリスの『希望の巡礼者』における「詩人」と「夢」(『英文学研究 支部統合号』第 5 号、日本英文学会、2013 年)「民衆の聖堂—ウィリアム・モリスの中世主義思想」(『ヴィクトリア朝文化研究』第 9 号、日本ヴィクトリア朝文化研究学会、2011 年) など。

【田 恩伊】

博士 (学術) 神戸大学。神戸大学大学院メディア文化研究センター学術推進研究員、神戸大学非常勤講師。共著『モダニティの変容と公共圏』(京都大学出版会)、論文「日本のインテンショナル・コミュニティ (Intentional Communities)—歴史的展開と現代的意義」(『ソシオロジ』、第 55 巻 3 号)、「創られる共同体—Intentional Communities とは」(『「公共圏」と「多元的近代」の社会学理論」、京都大学 GCOE 国際共同研究報告 4、)、京都大学)、訳論文「リスク社会における日韓の低所得シングルマザーに対する就労支援—非営利組織活動を中心にして」(Job Supports for Underclass Single Mother in Risk Society—Activities of NPO in Japan and Korea)『現代の社会病理』第 22 号) など。



●お問い合わせ

異文化研究交流センター

TEL: 078-803-7650

mail:irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp

メディア文化研究センター

TEL: 078-803-7494

mail:mec@ccs.cla.kobe-u.ac.jp

会場への交通

阪神「御影」、阪急「六甲」、JR「六甲道」下車。
市バス 16 系統「六甲ケーブル下」行に乗車。
「神大国際文化学部前」下車。徒歩 3 分。

※阪急「六甲」より徒歩で 20 分ほどですが、急な坂道ですので、上記バスのご利用をお勧め致します。